



2020 年臨床漢方薬理研究会大会 (第 115 回例会)

論題

日時

2020 年 2 月 23 日

13 時 ~ 17 時 40 分

会場

キャンパスプラザ京都
第 3 講義室

京都市下京区西洞院通塩小路下ル
TEL 075-353-9111

京都駅 JR 中央口から改札を出て、左に曲がり、伊勢丹の前の通路を進む。②郵便局の前の横断歩道を渡り、③郵便局の角を曲がります。④そのまま直進 ⑤ビックカメラの向かいです。

研究会参加費：4000 円

参加申し込み

氏名・職業(所属)・住所・電話/メールを記入して、以下までご連絡下さい。

日中平和観光(株) 上松成人 宛て

FAX: 06-6227-5305

E-MAIL: uematsu@nicchu.co.jp

研究会連絡先

臨床漢方薬理研究会代表 日置智津子
近畿大学東洋医学研究所

〒589-8511 大阪狭山市大野東 377-2

TEL: 072-366-0221 (8556)

E-MAIL: chioki@kindai.med.ac.jp

主催 臨床漢方薬理研究会

共催 日本生薬学会

後援 京都府薬剤師会

京都府女性薬剤師会

大阪府薬剤師会

薬剤師研修センター集合研修会

(研修認定薬剤師/漢方薬・生薬

認定薬剤師：集合研修 3 単位)

100 歳健康社会と心身一如 現代社会における心と漢方

プログラム

13 時 ~ 14 時

「齢を重ねてからの健康管理実践と指導法」

(株) 日本食生活指導センター代表取締役

野々村瑞穂

「生薬はいかにして生産されているのか？」

近大東洋医学研究所附属診療所

宇高一郎 他

14 時 ~ 15 時

「加齢に伴う脂肪蓄積改善に資する天然資源の探索」

近大薬学総合研究所教授

森川 敏生

15 時 ~ 16 時

「東洋医学は現代人の心身健康管理を担う」

近大東洋医学研究所講師

日置智津子

特別講演

16 時 10 分 ~ 17 時 40 分

「心身連関について

～ユング派精神科臨床の経験から～」

池上メンタルクリニック院長

池上司

敬称略

ご案内

英国のリンダ・グラットン氏は、著書「LIFE SHIFT」で、2007 年生まれの日本の子供は 107 歳まで生きる可能性が 50%と記した。これから地球を含めた宇宙環境も変わり、理論通りになるかどうかは不明であるが、長寿日本の論説は、我々にとり幸福なことであると考えられる。ところが、市民は健康維持と経済的不安を声にする。仏法的であろうと無かろうと 100 歳人生の中で生ずる「老・病・死」を中心とした人生に対する不安は、現代日本人に「人間・生きるとは何か？」人間が内包してきた課題を浮彫にする引き金になっている。

東洋医学は、薬の素材も人間と同様に生命体であり、自然環境と共生して育まれた命の顕現である。内分泌を基礎とした薬効評価によって効果効能を認めることができる漢方薬は、心身機能の活性には欠くことができないと考えられる。心身一如は、複雑系環境を有意義に生き抜くキーワードである。それでは心と身体の関係(相関)は健康医薬学ではどのように理解されるのか。現代社会がかかえる心の課題は何か。その対策について探索すべく、専門領域を超えて、多くの皆様と時間を共有致したく存じます。奮ってご参加下さいますよう。